

# 総合事業の方向性

## ～介護予防・日常生活支援総合事業～

令和4年2月  
豊島区高齢者福祉課  
総合事業グループ



# 総合事業とは

高齢者が要介護状態にならないように総合的に支援することを目的に、各自治体が発行する介護予防事業等の総称が「介護予防・日常生活支援総合事業（通称：総合事業）」とされています。

【創設の経緯】平成27年度の介護保険制度の改正により、全国一律の基準で実施されてきた介護保険給付の一部が、各自治体が主体となって実施する事業の一つと位置付けられました。

【主な内容】「介護予防訪問事業（ホームヘルプ）」と「介護予防通所事業（デイサービス）」の二つです。

【対象者】要支援1・2、事業対象者（基本チェックリスト実施の結果、事業の対象者に該当した65歳以上の方）

【開始時期】豊島区では平成28年4月から開始しています。

地域住民のチカラを生かし  
支え合いの地域づくりを推進します



# 介護保険給付との違い

総合事業は介護保険制度の大きな枠組みの中で実施されており、財源にも介護給付と同様に、国・都の補助金その他、介護保険料が充てられています。一方で、下記の3点は、介護給付の考え方とは異なる総合事業の大きな特徴と言えます。

【事業の位置づけ】 全国一律の介護保険給付とは異なり、各自治体が主体となり地域の実情に応じて行う事業の1つ。

→サービスの運営基準や単価、利用者負担額などを各自治体が独自に設定することが可能に。

【対象者】 要支援1・2の方だけでなく、基本チェックリストで事業対象者に該当した65歳以上の方もサービスの利用が可能。

→サービスの利用にあたり要介護認定は不要。

【サービス提供者】 これまでの指定介護事業所に加えて、NPOや民間企業、ボランティアなど多様な主体によるサービス提供が可能となっている。

→多種・多様なサービス提供が可能に。

# 総合事業創設の背景と狙い

## 介護給付における現状と課題

- 高齢化の進行により、要介護者・支援者は今後大幅に増加の見込み
- 介護給付費の増加による財政的な懸念が深刻に
- 少子化の影響等により、介護人材の不足が更に深刻に
- 要支援者の増加に伴い、支援ニーズも多様化している

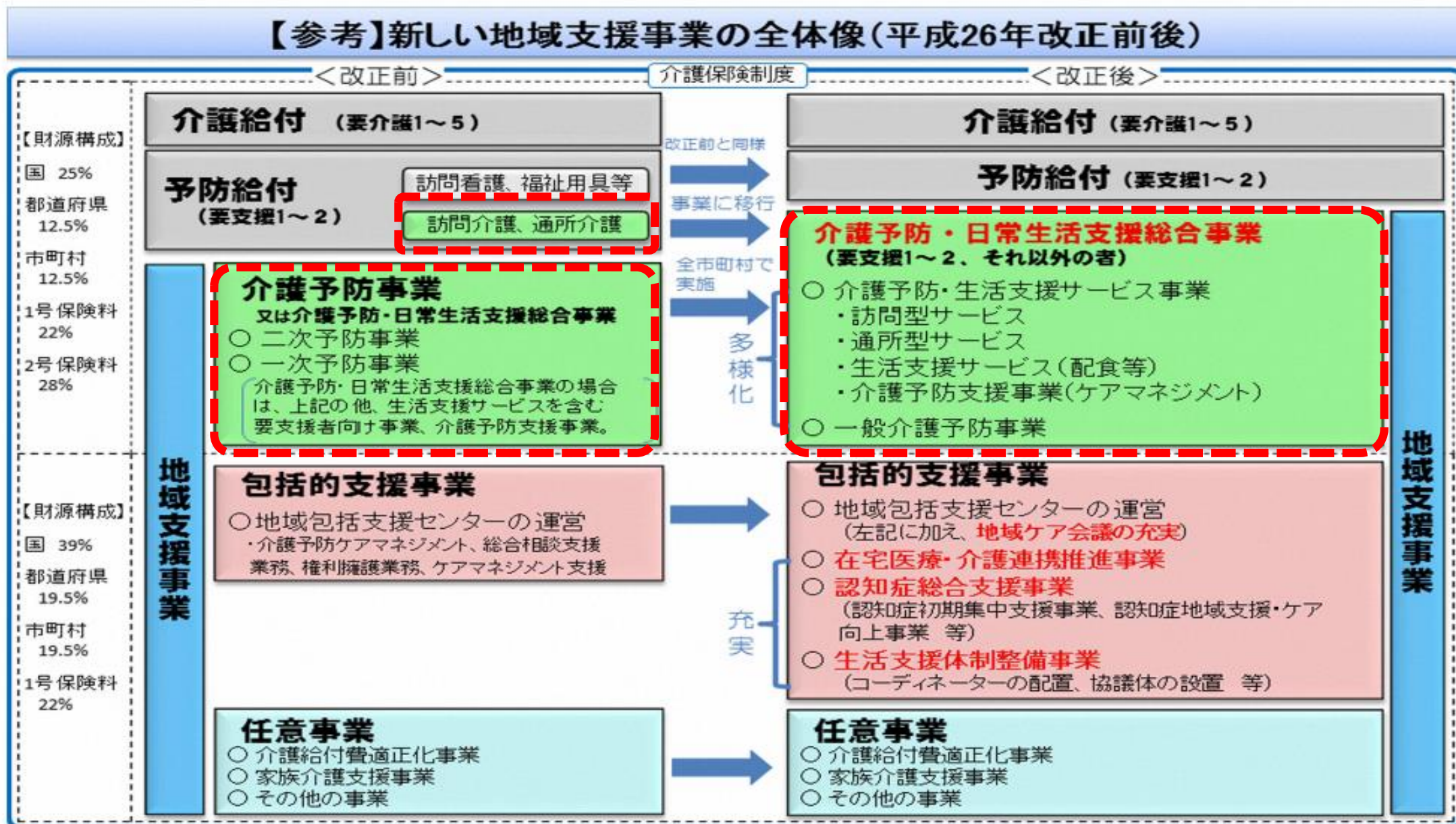
## 総合事業の狙い

- 要介護状態ではない高齢者にも多様なサービスを利用してもらうことで、なるべく介護を必要としない暮らしを続けられるようにする。
- 介護事業者だけでなく、NPOやボランティア、町会、住民など様々な立場の人たちで、高齢者を支え・見守る体制を地域社会の中に構築する。



高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、高齢者自身の能力を最大限に活かして、要介護状態になることを予防する！

# 総合事業の全体像（制度改正前後の比較）





# 豊島区の現状：フレイルチェックより

- 平成31年度（212名）  
令和元年9月～2年2月

参加者	要フォロー者
212人	60人
赤シール7枚以上	赤シール8枚以上
60人	45人
28.3%	21.2%

本区はもともとフレイル率該当者率が高い  
うえに、新型コロナウイルス感染症対策の活動  
自粛のため、さらに増加！  
コロナフレイルの進行！！

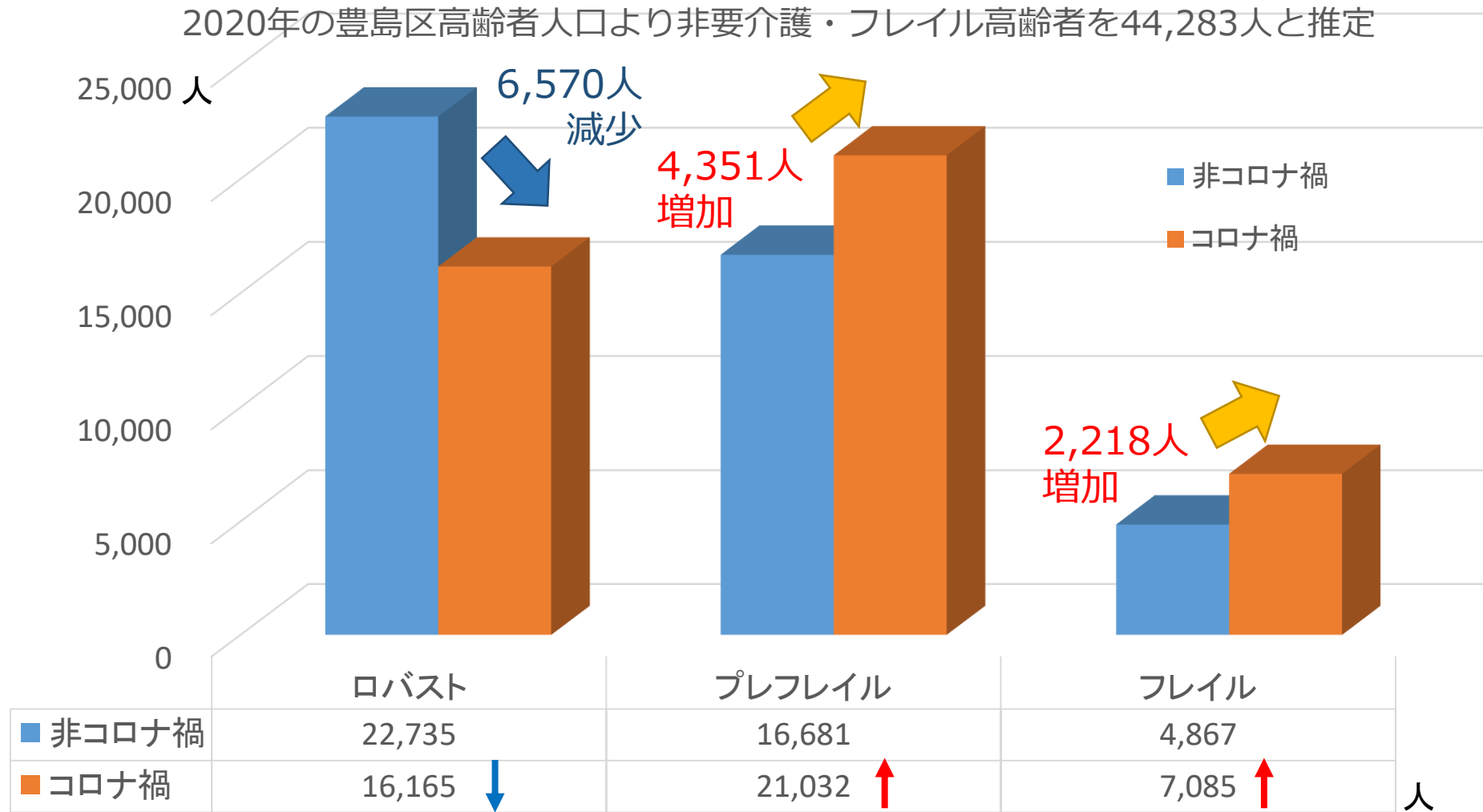
フレイルチェック要フォロー者  
全国15%  
本区R1：21.2% → **R2：33.6%**

- 令和2年度（387名）  
令和2年7月～3年3月

参加者	要フォロー者
387人	165人
赤シール7枚以上	赤シール8枚以上
165人	130人
42.6%	33.6%

およそ1.6倍も  
多い割合に  
なっている

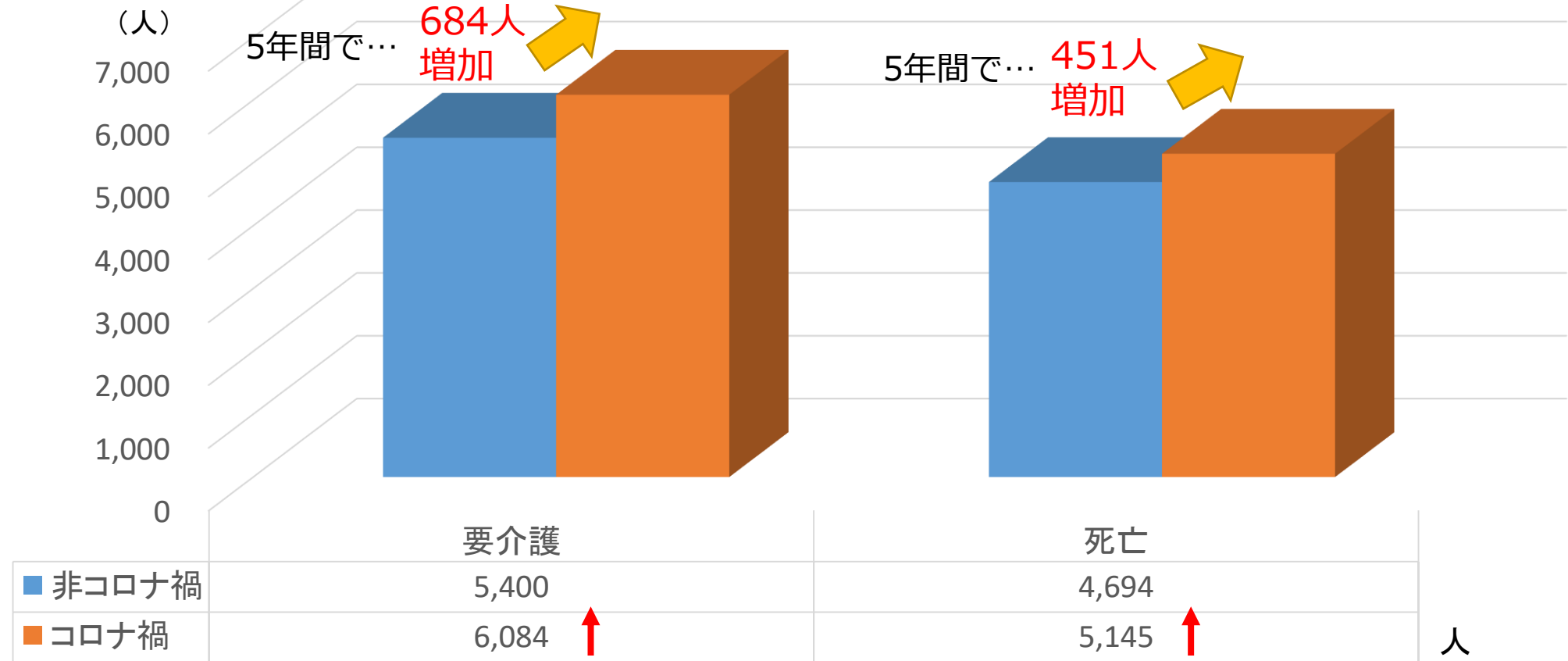
# 豊島区の現状：コロナ禍でのフレイルの変化



参考資料：令和3年6月29日webシンポジウム コロナ禍での介護予防・フレイル対策の推進「コロナ禍でも持続可能な介護予防の提案」  
山田実（筑波大学人間系）

# 豊島区の将来推計：5年間の要介護者数・死亡者数の変化

5年間の有害転帰発生データを基に算出。要介護を経て死亡する方は死亡者に含めている。



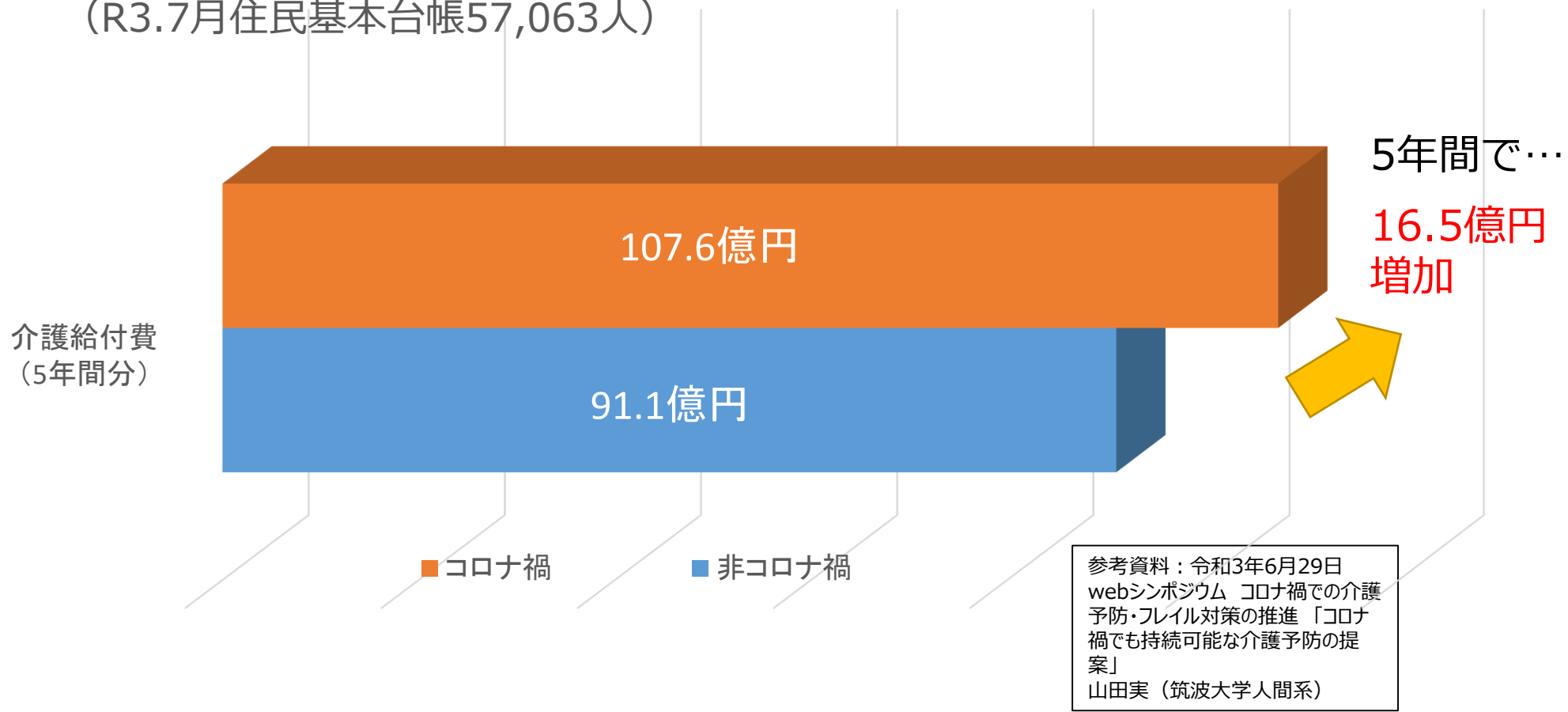
参考資料：令和3年6月29日webシンポジウム コロナ禍での介護予防・フレイル対策の推進 「コロナ禍でも持続可能な介護予防の提案」  
山田実（筑波大学人間系）



# 豊島区の将来推計：5年間の介護給付費の変化

2020年の豊島区の高齢者人口を5万7千人として推計

(R3.7月住民基本台帳57,063人)



## ○これまでの総合事業のテーマ

### 「利用者の状況に合わせて必要なサービスを選べる」

介護保険給付（従来）

利用者がサービスを選べる余地が少なく、またサービスの種類も限定的



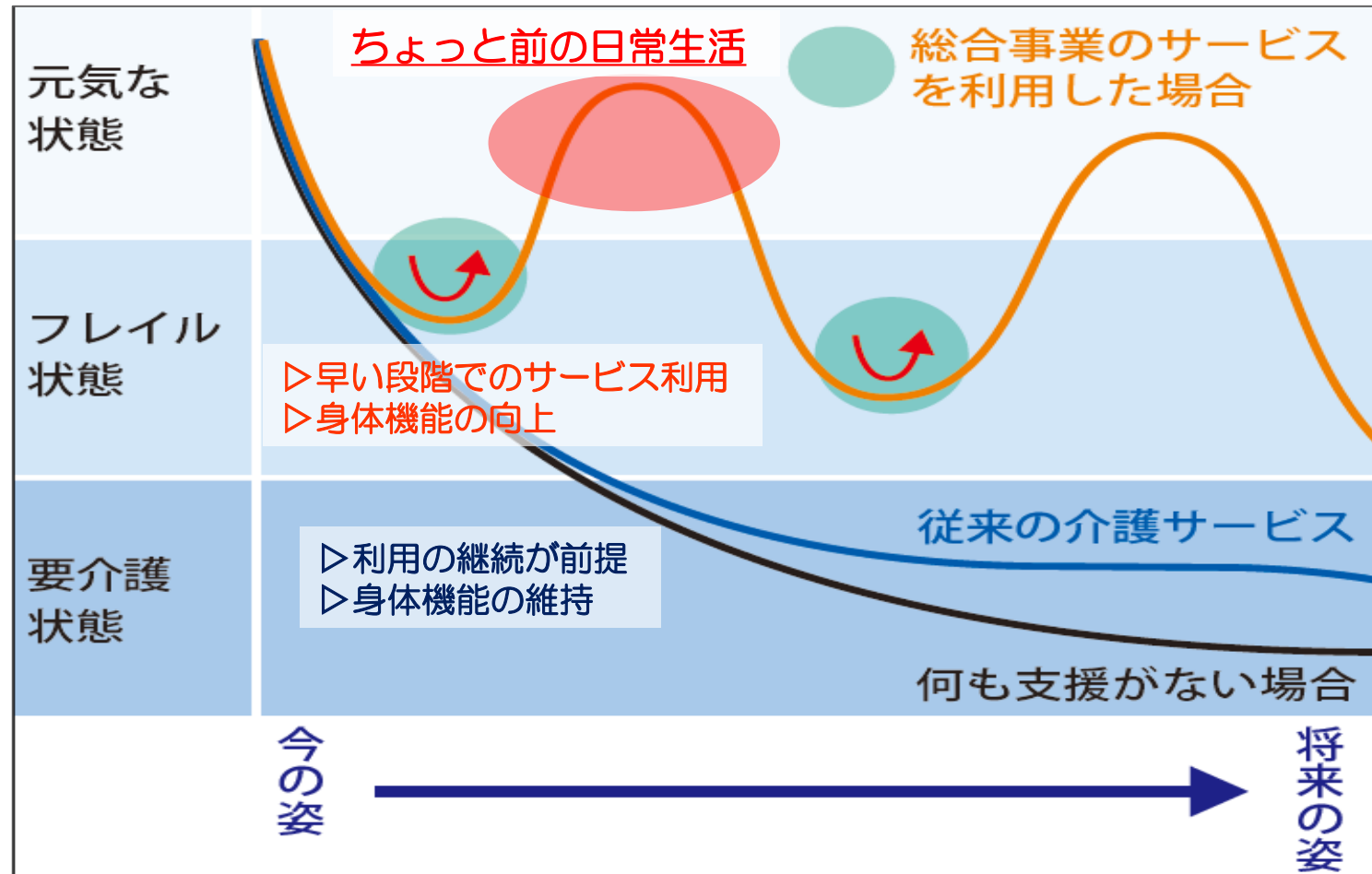
総合事業（現在）

利用者が数多くのサービスの中から、自分に必要なサービスを選択できる

総合事業の制度開始以降、豊島区では利用者の選択肢を増やすため、訪問・通所で様々なサービスを立ち上げることに注力。

○これからの総合事業のテーマ

「ちょっと前の自分を取り戻す」



# 総合事業の目指す姿

## ○総合事業の目指す姿

サービスの利用により、自分でできることを増やしていく！

